

“災害文化の継承”と “国難災害への備え”

～100年先の未来に向けて、国際防災・人道支援協議会(DRA)のめざすもの～

国際防災・人道支援協議会(DRA)設立20周年記念

国際防災・人道支援フォーラム 2023

私たちは、阪神・淡路大震災、東日本大震災などの巨大災害の経験も踏まえ、次の100年に向けて、防災を「文化」として根づかせていくために何をすべきなのか。

大都市直下型地震、南海トラフ巨大地震などの大規模災害のリスクが高まるなか、国民、行政、企業など、全ての当事者が一体となって、国難災害にいかに対応していくべきなのか。

2023年は、折しも関東大震災から100年の節目の年にあたります。国際防災・人道支援協議会(DRA)の20年を土台として、これからの100年に向けて、災害文化を継承し、国難災害に備えるため、私たちがめざすべき方向性について考えます。

日時

令和5年(2023)年

1月24日(火) 13:30～17:00

場所

神戸ポートピアホテル「偕楽の間」

神戸市中央区港島中町6丁目10-1
※ポートライナー「市民広場」駅下車すぐ

(日英同時通訳) ※「YouTube」配信も実施予定

プログラム(予定)(敬称略)

基調講演／総括

「人と防災未来センターの20年と
新たな挑戦」

河田 恵昭

国際防災・人道支援フォーラム
実行委員会委員長、
人と防災未来センター長



特別講演

「トルコからの報告(仮題)」

エミン・
オズダマル

ひょうごトルコ友愛基金
理事



「国難災害への備え(仮題)」

林 春男

国立研究開発法人
防災科学技術研究所
理事長



パネルディスカッション「文化的防災事業によって国際防災をすすめる」

《ファシリテーター》河田 恵昭 国際防災・人道支援フォーラム実行委員会委員長、人と防災未来センター長

《パネリスト》エミン・オズダマル ひょうごトルコ友愛基金 理事 林 春男 国立研究開発法人 防災科学技術研究所 理事長
小林 郁雄 まちづくり株式会社 コー・プラン アドバイザ 木村 出 国際協力機構(JICA) 関西センター 所長

参加
方法

(無料)

①会場での参加をご希望される場合

人と防災未来センターホームページからお申し込みください。
<https://www.dri.ne.jp/pickup/forum/forum2023/entry/>

※定員(100人)に達し次第、募集を締め切ります。

(注) 新型コロナウイルスの感染拡大など、やむを得ない事情が生じた場合には、開催形式の変更、代理講師起用等、臨時的措置を取ることがございます。



会場参加申込フォーム

②YouTubeでの視聴をご希望される場合

当日、人と防災未来センターホームページから、YouTubeでの同時配信をご覧いただくことができます(事前申込不要)。

※詳細については、人と防災未来センターのホームページよりお知らせします。

人と防災未来センターのホームページ <https://www.dri.ne.jp/>

主催 国際防災・人道支援フォーラム実行委員会

兵庫県、人と防災未来センター、アジア防災センター(ADRC)、国際協力機構(JICA) 関西センター、兵庫県国際交流協会(HIA)、ひょうご震災記念21世紀研究機構(Hem21)、国際防災・人道支援協議会(DRA)

問合せ先 国際防災・人道支援フォーラム実行委員会事務局

(人と防災未来センター普及課内)

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-2 西館 6 階

後援 朝日新聞社、神戸新聞社

電話: 078-262-5066 FAX: 078-262-5082

